

4時間 マラソンコンサート

弦楽・打楽・管楽・ピアノ・声楽

2014 1月13日(祝)
13:30 開場 14:00 開演
都筑公会堂



Tadashi Suenaga
ピアノ 末永 匡



Sofia Karvla
ソプラノ
ソフィア・カルヴェラ



Ryusei Kojo
テノール 小城龍生



Sayaka Nojiri
パーカッション
野尻小矢佳

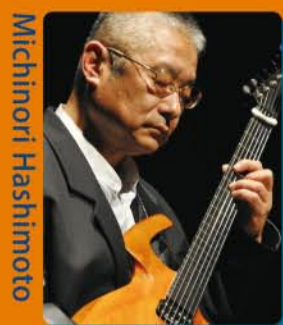


Yuko Yokomichi
ピアノ 横路裕子

音のバトンをつなげて魅了する4時間のステージ
弦・打・管・ピアノ・声楽を多彩な顔ぶれで。



Mano Uchiki
フルート 打木真乃



Michinori Hashimoto
ギター 橋本道範

サクソフォン・カルテット



Seiji Tanzaw
丹沢誠二



Yuri Nakamura
中村有里



Ayana Oda
小田采奈



Keiko Akiyama
秋山恵子

DECEMBER TRIO



Emi Araki
サクソフォン
荒木絵美



Mayuko Takase
ヴァイオリン
高瀬真由子



Yuka Kogoshi
ピアノ
小越由香

“大中 恩が好きすぎて”



Anna Mizuno
ソプラノ
水野安菜



Mitsuhito Goto
アルト
後藤光保



Hideyuki Ubukata
テノール
生方秀行



Kenta Fukushi
テノール
福士健太



Yuki Hamakawa
ピアノ
濱岡由季

ナビゲーター
若林正人

■会場ロビーでは、画家 築山洋子の作品をご覧になれます。 3,000円・学生 1,500円(全自由席)

チケットのお申し込み&お問い合わせ:090-9851-4134(安達) info@tandn-plan.jp
主催:PIU MUSICA CONCERT 実行委員会 協力:T&N企画、(株)SPプランニング、コンサート・ラド、築山洋子(画家) 後援:日嗅協会、社団法人 全国ピアノ指導者協会(ピティナ)

もっと音楽に逢いたくて

質のよいクラシック系音楽を身近に楽しんでいただこうと、聴きたい人と聴かせたい人をつなげる新しいムーブメントの始まりです。いい演奏にふれる、参加する、ときめきを探しに来てください。

program

音のバトンをつなげて魅了する4時間のステージ。

- ラヴェル「亡き王女のためのパヴァーヌ」 打木真乃(フルート)
- “大中 恩が好きすぎて”「かぜのなかのおかあさん」「おなかのへるうた」「ひとりぼっちがたまらなかつたら」「こんな夜には」他 水野安菜(ソプラノ) 後藤光保(アルト) 生方秀行(テノール) 福士健太(テノール) 濱岡由季(ピアノ)
- ドビュッシー「喜びの島」 小越由香(ピアノ)
- イシエヌ「カンティレーナと踊り」 DECEMBER TRIO
- 「忘れな草」 ソフィア・カルヴェラ(ソプラノ)
- 「カタリ・カタリ」「マレキヤーレ」 小城龍生(テノール) 横路裕子(ピアノ)
- リスト「バラード第2番」 末永 匡(ピアノ)
- カッチーニ「アヴェ・マリア」 橋本道範(左手のギター)
- J.S. バッハ「G線上のアリア」 サクソフォンカルテット
- ジブコヴィッチ「神々へのリズム」 野尻小矢佳(パーカッション) 他

artists profiles

打木真乃 (フルート)
うちき まの
横浜市に生まれ、4歳よりピアノ、12歳よりフルートを始める。北鎌倉女子学園高校音楽科では益山弘照に師事し、洗足学園短期大学(現洗足学園音楽大学)では甲斐達雄に師事する。

末永 匡 (ピアノ)
すえなが たいし
アジア、ヨーロッパ、エジプトでの(国際文化交流を含めた)積極的な演奏活動。ソロ、室内楽、コンチエルトソリストとして数々のコンサート、音楽フェスティバルに招待される。プロデュース、執筆、レクチャー等多方面でも活躍。

橋本道範 (ギター)
はしもと みちのり
日本ギター音楽学校卒業。全日本ギターコンクールの重奏1位、独奏2位。世界中、客演含め演奏旅行に歩き、1995年 脳出血で倒れるが、2012年にタッピングギターにより左手だけの演奏で復帰。ミチギター教室を主宰。

丹沢誠二 (サクソフォン)
たんざわ せいじ
10歳よりサクソフォーンを始める。国立音楽大学サクソフォーン専攻を卒業。これまでに小曾根真貴、山下洋輔氏、渡辺真夫氏など多くの著名なアーティストと共演。クラシックからジャズまで幅広く演奏活動を行っている。

荒木絵美 (サクソフォン)
あらか えみ
神奈川県藤沢市出身。2008年 東京芸術大学卒業。2011年 ヴェルサイユ地方音楽コンクール県議会賞、また審査員特別賞を受賞し卒業。第7回 ルーマニア国際音楽コンクール管楽器部門第1位。

野尻小矢佳 (パーカッション)
のじり さやか
武蔵野音楽大学卒業。国内外で経験を積む。日本打楽器新人グランプリ&岩城賞など受賞多数。クラシックから現代音楽まで幅広く活動し、作編曲や「聴いて、観て、感じる音楽」の多彩な音空間が魅力。CD2枚リリース。

横路裕子 (ピアノ)
よこみち ゆうこ
桐朋学園大学、ドイツ国立ロストック音楽演劇大学卒業。第15回ブラームス国際コンクール(ファイナリスト)など、国内外の様々なコンクールに入選。帰国後は室内楽を中心に全国各地で演奏活動を行っている。

ソフィア・カルヴェラ (ソプラノ)
Sofia Karvella
国立音楽大学声楽科卒業。ポロニアに留学。イタリア各地で多数のコンサートに出演。ポロニア歌劇場のコンクールに入選。2008年からギリシャのピロス市の夏のフェスティバルに参加。2010年「修道女アンジェリカ」タイトルロールにてデビュー。

中村有里 (サクソフォン)
なかむら ゆり
国立音楽大学弦管打楽器専修卒業。弦管打楽器ソリストコース修了。現在 国立音楽大学大学院修士課程一年音楽専攻在学中。第7回 横浜国際音楽コンクールにて 第2位入賞。第11回 大阪国際音楽コンクール、第17回 KOBE 国際音楽コンクールにて入賞。

小越由香 (ピアノ)
こしよ ゆか
東京芸術大学音楽学部器楽科、ベルリン音楽大学修士課程卒業。かながわ音楽コンクール県議会賞、フレッシュ横浜音楽コンクール金賞・審査員特別賞、日本クラシック音楽コンクール他、受賞多数。2013 横浜みなとみらいホールにてピアノリサイタル。

小城龍生 (テノール)
こじょう りゅうせい
国立音楽大学卒業。声楽を池端ミチ子、野中匡雄、菅野博昭、Paride ven turiの各氏に師事。イタリアのポロニアに留学し研鑽を積み、ロレンツォ・ペロージ国際声楽コンクール入賞。東京オペラブロードキャストメンバー。

水野安菜 (ソプラノ)
みずの あんな
埼玉県出身。東京音楽大学声楽専攻を卒業。特に日本歌曲や童謡、沖縄ソングを好み、三線を始める。活動は小さなコンサートや、ボランティア演奏・歌唱指導など。最近では作詞活動も少々。

後藤光保 (アルト)
ごとう みつほ
東京音楽大学中退後、地元栃木県は那須塩原で細々と音楽活動を行っている。Altoというパートに尋常ならざる誇りを持ち、その情熱はしばしば鬱陶しい。2011年からコンサート「大中 恩が好きすぎて」に参加。

小田采奈 (サクソフォン)
おだ あやな
国立音楽大学サクソフォーン専攻卒業。演奏応用コース修了。在学中、渡辺真夫、本田雅人、小曾根真 各氏と共演。第46回 岡山県新人演奏会に出演。クラシックコンクールにて入選。ヤマハPMS 講師。その他、ジャンルを問わず活動中。

高瀬真由子 (ヴァイオリン)
たかせ まゆこ
桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。横浜市栄区民文化センターリリス・レジダンス・アーティスト、横浜市鶴見区民文化センターサルビアホール・レジデントアーティスト。横浜市民広間演奏会会員。

生方秀行 (テノール)
うぶかた ひでゆき
東京理科大学建築学科卒業、日本大学大学院を建築学で修了後、東京音楽大学声楽科卒業。東日本大震災の被災地で演奏活動。演歌・ポップスのバックコーラス等も務める。東京アニメ・声優専門学校にてヴォーカルの講義を担当。

福士健太 (テノール)
ふくし けんた
幼い頃から歌うことが大好きで、中学校卒業時に歌の道に進むことを決意、東京音楽大学附属高校を卒業後、同大学で本格的に音楽を学ぶ。クラシック、童謡、ポップスなど様々なジャンルに挑戦。

濱岡由季 (ピアノ)
はまおか ゆき
東京音楽大学ピアノ科卒業。在学中、学内選抜演奏会やピアノデュオコンサートに出演。音楽伴奏のピアノ講師に加え、現在伴奏ピアニストとして活動。

秋山恵子 (サクソフォン)
あきやま けいこ
岡山県出身。2013年 国立音楽大学演奏卒業。現在、フリーランスのサクソフォーン奏者として、ソロ・室内楽等を中心に演奏活動を行う傍ら、後進の指導にもあたっている。クラシックを雲井雅人に師事。

若林正人 (ナビゲーター)
わかばやし まさと
1990年 テレビ朝日「ニューステーション」1993年「スーパーモーニング」のキャスターを務め、人気を集める。1992年 桃山学院大学講師。多くのTV・ラジオ放送出演。クラシック音楽に造詣が深い。

都筑公会堂



横浜市営地下鉄「センター南」駅より 徒歩6分
〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1
都筑区総合庁舎内 TEL.045-948-2400

PIU MUSICA CONCERT
総合プロデュース 安達のり子



築山洋子 つきやまようこ (画家)
絵の様な風景のヨーロッパに行きたくて客室乗務員になり、結婚退職機に本格的に油絵を描き、1988年から国画会に大きな絵を出品しています。現在も毎年ヨーロッパにスケッチに出かけ、その心象風景を美しい色を心がけて描き続けています。